

OKAYA ECHO

岡谷エコロータリークラブ RI2600 地区諏訪グループ

2023-2024年度 会長 河西 明 幹事 吉池雅志

●永遠のテーマ **地球のために何かをしたい**



ROTARY CLUB OF OKAYA ECHO WEEKLY

vol. 1401 2023.9.9

35周年記念事業 野外家族例会“中央アルプス千畳敷カールハイキング”自然の玉手箱合同

担当：35周年準備委員会、環境保全委員会、社会奉仕委員会

参加者 会員 28名 家族他 19名 / 自然の玉手箱 児童名 24名 先生 4名 外部講師、団体 3名

【例会】 往路バス車中開催 SAA 小口陽一委員長

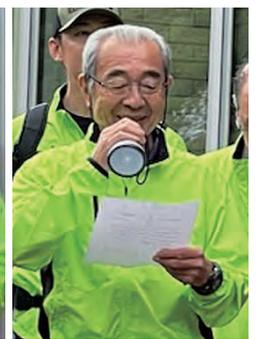
- ◆点鐘
- ◆会長挨拶 河西 明会長
- ◆幹事報告 吉池雅志幹事
- ◆35周年準備委員会委員長挨拶 高橋政幸委員長
- ◆スケジュール確認
35周年記念事業部会 進藤龍吾部会長
- ◆閉会 点鐘



【支援金授与式：「中央アルプスにライチョウを復活させる事業への支援」】

自然の玉手箱合同 於：千畳敷駅 SORATOKIテラス

- ◆開会 司会：35周年記念式典部会 長田香部会長
- ◆会長挨拶 河西明会長
- ◆小林篤氏並びに中村浩志氏紹介
環境保全委員会 高木秀典委員長
環境省信越自然環境事務所
野生生物課生息地保護連携専門官 小林篤 氏
(財)中村浩志国際鳥類研究所 代表理事 中村浩志 氏
- ◆支援金授与 (財)中村浩志国際鳥類研究所へ金20万円
(目録)贈呈 河西明会長
- ◆中村浩志氏並びに小林篤氏 挨拶
- ◆小口貴一郎川岸小学校校長 挨拶
- ◆記念写真
- ◆報告確認事項 社会奉仕委員会 丸茂仁志委員長
- ◆閉会



Rotary



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度 RIテーマ

世界に希望を生み出そう

■ 岡谷エコロータリークラブ事務局

〒394-0081 長野県岡谷市長地権現町3-2-45(マリオ内)
TEL/FAX 0266-26-7600 E-mail:ri2600@okaya-echo.jp
http://www.okayaecho-rotary.club

◆会長挨拶

河西明会長

今日は35周年の先行記念事業の千畳敷カール記念ハイキングに、クラブ会員、ご家族、並びに岡谷市川岸小学校の小口校長先生を始め先生方、自然の玉手箱の児童の皆さん、多くの方々にご参加いただき誠にありがとうございます。

そして、この中央アルプスでライチョウの復活作戦に取り組んでおられる財団法人中村浩志国際鳥類研究所、代表理事の中村浩志様、環境省の小林篤様に大変お忙しい中を、この千畳敷カールまで駆けつけて頂き心より感謝申し上げます。

私達岡谷エコーRCは1990年9月17日に創立し、来年35周年の節目を迎えます。発足以来、「地球のために何かをしたい」をクラブテーマに掲げ、自然環境を守り大切に多くの事業や、その大切さを子供たちに学んでもらう事業に取り組んできました。特に自然の玉手箱は先輩方から継続して、川岸小学校・先生方のご協力で、今年で第27期を迎え、今日で271回目になります。毎回児童が熱心に学び成長していく姿を目にし、うれしく思っています。

今回35周年の記念事業として、中央アルプスで行われているライチョウ復活作戦の支援を決定しました。ライチョウをこの中央アルプスで復活させることは、高山の自然環境を守っていくことが大切で、私達人類や動物や植物、生き物たちが暮らす母なる地球の自然を守ることに繋がっています。

先日、小林篤様に川岸小学校での特別授業をお願いしました。ライチョウの生態や、ライチョウが暮らしていくために必要なことを、大変興味深くご講演をいただきました。児童の皆さんからは次から次へと沢山質問が出て、大変勉強になったと思います。そして、今日はそのライチョウが暮らす山を実際に歩いて、ライチョウの好きな自然環境を体験し、学びたいと思います。この貴重な自然を守っていくことの大切さを肌で感じて頂くことが目的です。

ここは2600Mの標高です。千畳敷カール内のハイキングでこの素晴らしい自然環境を満喫し、玉手箱の皆さんは2870Mの乗越浄土まで頑張って登りたいと思います。この標高は生まれて初めての高さという方が多いと思います。ライチョウには会えなくてもライチョウの好





きな場所を歩いて目で見て体感してきましょう。そして今日は学校の特別授業に参加した150名のうち玉手箱の30名ほどが参加していますが、来られなかったお友達やご家族の方々に、是非、今日見たことや感想を伝えて欲しいと思います。

本日、中央アルプスにライチョウを復活させる事業への支援金を、財団法人中村浩志国際鳥類研究所様に贈呈させていただきます。ライチョウを守り復活させることに役立てていただければと、我々メンバーの思いを託します。これからも私ども岡谷エコーRCは、今日ご参加いただいた皆様とともにクラブテーマのもと、自然に親しみ自然環境を守る活動を行っていきたいと思います。

最後になりますが、中村浩志様、小林篤様の更なるご活躍とご健勝をお祈りし、ご挨拶といたします。





ライチヨウの生息域体感

エコロータリーが
中アでハイキング 復活事業に支援金も

岡谷エコロータリー 越浄土（標高約2810メートル）まで登山道を進み、雄大な自然環境を肌で感じた。同クラブは「地球のために何かしたい」をテーマに掲げており、気候変動で生態系が脅かされる現状を受けて「クラブの趣旨にも合致する」として35周年準備委員会（高橋政幸委員長）が担当となってライチヨウ復活事業への支援を決めた。環境省職員や自然の玉手箱に参加

する川岸小学校の児童24人、教職員、クラブ会員とその家族計77人が参加したという。同クラブによると到着後、中村浩志国際鳥類研究所の中村浩志代表理事（信州大学名誉教授）に支援金20万円を贈呈。中村代表理事からは、子どもたちがこの日のために学校で特別授業を受け、学校で学んできたことを、きょうはここの中央アルプスで勉強してほしい」と話していた。

その後、一緒に乗越浄土まで進み、参加者はライチヨウの生息域や高山のハイマツなどの植物、植生とライチヨウとの関わりなどを聞いた。この日は、ライチヨウに出会うことができなかったという。その後は一緒に乗越浄土まで進み、参加者はライチヨウの生息域や高山のハイマツなどの植物、植生とライチヨウとの関わりなどを聞いた。この日は、ライチヨウに出会うことができなかったという。

その後は一緒に乗越浄土まで進み、参加者はライチヨウの生息域や高山のハイマツなどの植物、植生とライチヨウとの関わりなどを聞いた。この日は、ライチヨウに出会うことができなかったという。

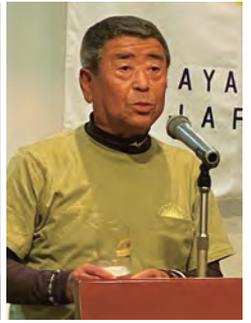
岡谷市民新聞掲載記事



【中央アルプス千畳敷カールハイキング慰労懇親会】

帰着後マリオにて

- 司会：親睦委員会 進藤龍吾委員長
- ◆会長挨拶 河西明会長
- ◆準備委員会挨拶 35周年準備委員会 木下敏彦幹事
- ◆乾杯 35周年準備委員会 増澤敏一副委員長
- ◆締め 井口光世エレクト



《自然の玉手箱》報告

社会奉仕委員会 丸茂仁志委員長

【川岸小学校 特別授業】

開催日時：2023年9月1日（金） 13：45～14：30
 場所：川岸小学校 体育館
 対象：川岸小学校生徒4.5.6年生150名／同校校長先生及び先生
 岡谷エコロータリークラブメンバー・自然の玉手箱講師
 講師：環境省信越自然環境事務所 野生生物課 生息地保護連携専門官 小林篤氏

35周年記念事業、「中央アルプスにライチョウを復活させる事業」への支援に併せて企画。

自然の玉手箱特別プログラム、千畳敷カールハイキングの事前勉強として玉手箱に参加する生徒だけでなく川岸小学校の4.5.6年生を対象とした特別授業を行いました。小林様より、スクリーンにパワーポイントを映し、ライチョウとはどんな鳥なのか？、中央アルプスからどうしていなくなってしまったのか、復活作戦が始まった経緯と現状（自然環境を守ることの大切さ・私たちの生活との関り）について講演をいただきました。

質疑応答では時間が足りないほど質問が出ましたので、子供たちの良い学びの機会を与えられたと感じました。

◎当日参加メンバー

河西明会長・吉池雅志幹事・井口光世会員・木下敏彦会員・小島善之会員・高木秀典会員・高橋政幸会員・長田香会員・花岡毅会員・藤森一俊会員・向山一弘会員・委員長 丸茂仁志
 自然の玉手箱講師：宮坂正博さん

2023年(令和5年) 9月2日(土) 第26387号

岡谷エコロータリークラブ（RC）は、来年迎える創立35周年記念事業の先行企画として、国が中央アルプスで進めるライチョウの復活事業を支援する。小学生向けに長年続ける自然体験事業「自然の玉手箱」の参加者と共に9日（土）、現地を訪ねて保護活動に当たる団体へ支援金を贈るほか、標高約2800mに位置する千畳敷の「栗越浄土」まで行き、県民でもある希少な鳥が生息する自然環境を体感して、川西明会長（59）は「気候変動に伴い、さまざまな問題がある中で次代を担う子どもたちに自然や、生き物を考える大切さを伝えて実感してほしい」と願う。

岡谷クラブは「地球の動で生息が脅かされ、員会（丸茂）委員長のために何かした」と、現状を受け、「クラブが担い手となってチームに届け、奉仕活動の趣旨にも合致する。ヨウ復活事業の支援を動を企画し、気候変動として社会奉仕委 決めた。当日は自然と



事前学習に先立つあいさつで事業に込めた思いを話す河西明会長（左）1日、川岸小で

その家族、自然の玉手箱に参加する川岸小学校の4.5.6年生約30人、教職員ら計80人ほ

校の4.5.6年生約30人、教職員ら計80人ほ

境事務所野生生物課の

環境省信越自然環

を対象に事前学習を

実施。環境省信越自然環

境事務所野生生物課の

生息地保護連携専門

官・小林篤さんがライ

チョウが絶滅したと思

われた中で2018

年に離れの標高が急昇さ

れたのを機に復活事業

が始まったことなどを

紹介し、「山の上と、

皆さんが住場所の環

境はつながっている。

友達も同じように、地

球にも優しくして」な

ど呼びかけた。

5年の雅志陽香さん

は「ライチョウを使

わず、なるべく窓を開

けるなどライチョウや

地球に優しい生活をや

りたい」と話した。

◎取材メディア

TVはNHK、LCV、テレビ信州、ABN長野朝日放送新聞は、信濃毎日新聞、岡谷市民新聞社、長野日報社 ※ NHKでは当日のイブニング信州にて放送を頂き、インタビューを受けた2名は自然の玉手箱に参加されている生徒さんでした。



発行所
 〒990-0001 岡谷市本町3
 岡谷市民新聞社
 編集・発行人 廣瀬 達
 電話 記事23・4449
 広告22・8000
 購読22・8001
 事業22・8002
 総務23・4441
 総務22・4444
 FAX 記事23・4444
 FAX 広告21・1515
 www.shimin.co.jp
 E-mail(記事)
 mail@shimin.co.jp
 E-mail(広告)
 koukoku@shimin.co.jp
 〒990-0001 岡谷市本町3
 定価1か月1,980円
 180円/100円 (税込)

市民新聞の購読申
 込めは本紙営業局
 番22・8001へ
 本紙売場開ける販売店
 新 野 店 番22-2383
 総社センター 番22-9880
 中 日 前 店 番22-4129
 毎日新聞野谷店 番78-7870
 廣 沢 野 店 番23-9886
 (所在地)
 岡谷市本町3丁目 番27-7502
 毎日新聞野谷店 番78-7870
 総社センター 番27-3883
 中日新聞野谷店 番27-7186
 コンビニもご利用ください



【第271回 自然の玉手箱 中央アルプス千畳敷カールハイキング】

参加人数：生徒：24名 教師：4名 自然の玉手箱講師：宮坂正博様、環境省：小林篤様

35周年記念事業、野外家族例会と併せて9/9（土）に本年度3回目、第271回の自然の玉手箱を実施いたしました。

前日台風による荒天も心配されましたが、千畳敷カールにあがると稜線がきれいに見える恵まれた天候となりました。

当初、学校側から生徒全員が登るのは難しいとの話もありましたが、参加した全員が乗越浄土まで登ることが出来ました。なかなか上がってこれない生徒もおりましたがメンバーや先生の協力もあり、無事行くことが出来たと思います。また生徒同士が声を掛け合って協力する姿や、他の登山客へ元気よく挨拶をして褒められている姿を沢山見ることができました。

乗越浄土に上がったからの環境省小林様の授業ではライチョウを捕まえるための道具などの説明を現地で行い、現地ならではの授業を聞くことができました。

今回の玉手箱はロープウェイ・登山・ライチョウの勉強と子供たちにとっても記念になる1日になったと思います。普段は賑やかな帰りのバスの中も、今回は登山の疲れもあってかとても静かでした。



ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

次回発表

ニコニコするメッセージをお寄せ下さい

今週のプログラム 9月25日(月) PM0:30
マリオ／卓話 米山奨学生 馮雨薇 (ワユ) さん

次週のプログラム 10月3日(火) PM6:30
マリオ／3クラブ合同夜間例会 ホスト岡谷RC